

☆被災地の歴史資料・文化財の保全、震災の経験の記録化と保存!!

★幅広いネットワークを通じて、歴史・文化を復興に活かす!!

☆被災地から全国へ、歴史学と社会をめぐる普遍的な課題へ!!

史料ネット News Letter

第59号 2009年9月25日(金)

発行：歴史資料ネットワーク

2009年8月発生台風第9号 兵庫県佐用町・宍粟市

被災史料救出緊急特別号!!!



▲水損史料を搬出するようす



▲倒壊した家屋（史料救出できず）



▲泥にまみれた古文書

▼兵庫県全図



兵庫県宍粟市

兵庫県佐用町

平成21年9月2日(水)
神戸新聞 朝刊22面

佐用 全国の歴史 貴重な史料、捨てずに相 談室と呼び掛けている。 同ネットは阪神・淡路 大震災を機に設立され、 地震や水害で被災した歴 史資料の保存活動を各地 で続けている。佐用町教 委が8月12日から被災文 書を調査し、被害が広範 囲に及んでいたため同ネ



ットに協力を依頼した。 メンバーが町内の旧家 や公民館を訪れ、水損し た約1万点を回収した。 被害が軽微な史料や数枚 つのみの紙は除き、水損し や天目干しで乾燥させ、 分厚い本はいったん冷凍 し、真空状態 で乾燥させる フリースト ライの手法 を用いる。 かつて大庄 屋だった旧家 では、明治一 昭和初めの文 書が被害を受け、大正時 代の「年貢米大豆入勘定 帳」などが新たに見つか った。 復元できた史料は原則 返却するが、保存が困難 な場合は寄託先を紹介す る。今後も支援を続ける といひ、松下さんは「家 族のアルバムや身近な人 との私信でも保全のお手 伝してほしい」と話してい た。ファクス(078・ 800・5555)で受 け付ける。(山岸洋介)

■現在、このような活動をおこなっております。
ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

活動記録



▲被害を受けた蔵のなか

■8月15日 佐用町・第1回現地入り（参加者7名）

- ・佐用町教育委員会文化財調査室にて、水損軽度の史料は吸水紙による吸水乾燥後、ジッパー付ビニール袋にシリカゲルを封入し保管、水損重度の史料は冷凍庫を購入して冷凍保管。
- ・佐用町上月力万地区を巡回調査、同地区区長に史料ネットチラシを配布。真空凍結乾燥機の手配。



■8月29日 佐用町・第2回現地入り（1日目）（参加者4名）

・中上月地区巡回

- A家：蔵から水損史料搬出。水損軽度の史料は佐用町教委文化財調査室にてエタノール噴霧と自然乾燥、水損重度の史料は冷凍庫にて冷凍保管。
- B家：家の半分が倒壊しており史料搬出できず。建物解体時の連絡を依頼。
- C家：留守のため調査できず。



▲（上）水損史料保管のための冷凍庫
（下）冷凍庫に保管された古文書



▲エタノール噴霧による消毒作業

■8月30日 佐用町・第2回現地入り

（2日目）（参加者4名）

- ・中上月A家：水損屏風の下張り剥がし・消毒・乾燥作業。蔵の中を乾かすためA家に扇風機を貸与。
- ・中上月C家：水損掛け軸・額を確認。古文書等は倉敷の自宅に保管しており、水害を免れたとの情報。後日、美術工芸品保存修復の応急処置法を連絡。

■8月31日 佐用町・第2回現地入り（3日目）（参加者9名）

- ・中上月A家：写真資料のクリーニングと消毒を実施。水損屏風の下張り剥がしを実施。町教委臨時職員に現状記録方法をレクチャー。蔵に残る水損史料レスキューを実施。所蔵する人力車・民具の保全方法等について検討。

■9月1日 佐用町・第2回現地入り（4日目）（参加者8名）

- ・中上月A家：佐用町教委文化財調査室にて水損史料の消毒・乾燥作業。水損屏風の下張り剥がしを継続。
- ・中上月D家：蔵の1階部分が水没。史料は全て廃棄したとの情報。
- ・中上月E家：以前の水害時に所蔵史料を廃棄したとの情報。今回は2.1mの水没。一斗升と白のみ残存。
- ・南光町にある佐用町社会福祉協議会を訪問し、史料ネットの活動への協力依頼



▲巡回調査のようす



▲乾燥中の古文書

■ 9月3日 佐用町・第3回現地入り（1日目）（参加者7名）

- ・中上月A家：佐用町教委文化財調査室にて近代史料の消毒・乾燥作業。新たに蔵から搬出した汚損史料の冷凍処置を実施。水損屏風の下張り剥がしを継続。
- ・久崎地区巡回調査。
- ・中上月C家：水損書画の応急処置方法を所蔵者にレクチャー。

■ 9月4日 佐用町・第3回現地入り（2日目）（参加者6名）

- ・中上月A家：調査室にて近代史料の固着展開・消毒・乾燥作業。
- ・佐用町役場：公文書が水損。保全方法をレクチャー。

■ 9月4日 宍粟市一宮町・第1回現地入り（参加者6名）

- ・宍粟市一宮町閭賀地区：区有文書が水損。固着展開、クリーニング作業。

■ 9月7日 佐用町・第4回現地入り（参加者18名）

- ・佐用町上月地区民具保管庫にて水損民具のクリーニング・乾燥作業。

■ 9月9日 佐用町・第5回現地入り（1日目）（参加者3名）

- ・久崎G家：水損史料の洗浄・乾燥作業。

■ 9月10日 佐用町・第5回現地入り（2日目）（参加者2名）

- ・中上月A家：佐用町教委文化財調査室保管分の近代史料の消毒・乾燥を実施。

■ 9月10日 宍粟市一宮町・第2回現地入り（参加者3名）

- ・閭賀地区公民館：区有文書のクリーニング・消毒・乾燥作業を継続。固着展開も実施。中性紙箱を寄贈。



▲乾燥中の古文書

- ・一宮市民局内の復興支援室を訪問し、史料ネットの活動への協力を依頼。
- ・一宮町安積地区を巡回調査。

安積B家：保管していた古文書入り段ボールも10cmほど浸水し、カビが生え始めたので乾燥を断念し廃棄したとの情報。

■ 9月15日 佐用町・第6回現地入り（参加者7名）

- ・久崎G家：「水洗い」・乾燥作業。



▲（上・下）古文書の「水洗い」作業

汚れや臭いの激しい史料については、尾立和則氏の指導のもと「水洗い」を行いました。「水洗い」とは、不織布などで史料を保護し、汚れや臭いを水で流す作業のことで、今回の保全活動で新たに導入した方法です。洗った後の史料はペーパータオルによる吸水作業のうえ乾燥させます。汚れや臭いが幾分か軽減されるという効果がありました。



▲ペーパータオルによる吸水作業

台風9号による被災歴史資料保全活動への支援募金のお願い

去る8月8日から11日にかけての台風9号による豪雨被害により、兵庫県佐用町、宍粟市、岡山県美作市では多くの被害がありました。不自由な生活を余儀なくされている被災者の皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日も早いライフラインと生活の復旧をお祈り申し上げます。

歴史資料ネットワークは、8月15日より被災地に入り、各自治体や地元の郷土史研究会とともに、被災歴史資料の救出作業を展開し、多くの被災地住民からの要請に応え、救出成果をあげています。

活動に参加するボランティアに対しては交通費・宿泊費・ボランティア保険料など必要最小限の補助をしたいと考えています。また、エタノール・マスク等の消耗品も大量に用意する必要があります。特に水害の場合、泥水に史料が浸かっているために廃棄されるケースは一般に多く、また水損史料はゴミ処理・残土処理が進むとともに廃棄されるスピードもより速いと考えられます。さらには、災害救助法が適用された地域を中心に住宅再建支援金が支給されると建物の解体が進み、水損から免れた史料であっても新たに廃棄される可能性も出てくると思われ、被災史料の確認・保全活動を一刻も早く進める必要があります。

皆様には、被災した地域の歴史資料の救出・保全活動の必要性について是非ともご理解を賜り、現地の歴史資料保全活動を支えるための募金をおよせいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

台風9号による被災歴史資料保全活動支援募金（郵便振替）

口座番号：00930-1-53945

加入者名：歴史資料ネットワーク

※ お問い合わせは、下記までお願いいたします。

史料ネット NEWS LETTER No.59 2009年9月25日発行

編集・発行 歴史資料ネットワーク

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学文学部内 史料ネット

TEL&FAX:078-803-5565（開室時間 平日の午後1時～5時）

URL:<http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~macchan/>

e-mail:s-net@lit.kobe-u.ac.jp

被災史料救出活動のようす・詳細は日々ブログに更新しています。

http://blogs.yahoo.co.jp/siryo_net